

市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう（高屋町編）」作品展について

広大マスターズ会員 難波平人

市民講座「東広島を楽しくスケッチしよう（高屋町編）」（講師：難波平人）を昨年11月2日（火）より4回にわたり開催し、受講生27名は高屋町白市の木原家住宅の周辺の民家や、家並みなど各自2点画きました。

その成果の発表展として、広島大学マスターズ主催で令和4年1月5日（水）～10日（月）：「くらら」（市民ギャラリー）で開催し、水彩、アクリル、油絵など計48点の力作を展示しました。



作品展会場



開会式を終えて

初日の開会式では東広島市教育長の津森 毅先生、広島大学マスターズ代表幹事の谷本能文先生、東広島市観光協会専務理事の上向 隆様にご挨拶を戴きました。

それに受講生からは「スケッチすることで高屋町の魅力を再確認し、批評会などでは絵を描く要領や技法を学ぶことができた。それに多くの市民に展示作品を観て戴き幸せでした」との声を多く聞いた。

なお、「作品展」への入場者はコロナ禍でも573名でした。